

一般社団法人国際介護人材育成事業団

## 2018年度 第4回理事会議事録

日時：2019年4月20日（土）14時00分～16時50分

会場：社会福祉法人ファミリー 特別養護老人ホームハピネス都筑 会議室

出席者：（理事）金澤 剛 福本京子 小沼正昭 江口 幸一 小國 英夫 佐藤 健二  
（監事）松本 典丈

欠席者：（理事）上野 歩 （監事）石原 温

参会者：（オブザーバー）

宮本 信 松下 啓子 松下 和孝 池尻 久美子 前川 直 松下 智子 大西 岩光  
甲川 由見子 宮脇 棟次郎 佐藤 和夫、佐藤 弘子 佐藤 高之 内山 彰吾  
戌亥 友孝 根田 貴史 中込 敏 中込 節子 長谷川 英世 藤井 将 秋元 孝則  
橋口 信一郎

配布書類：理事会の議案書（事前配布資料）、同（当日配布資料）

### ○招集と定足数

金澤理事長より、4月12日、定款35条1項に基づき、2018年度第4回理事会を招集したこと、又、14時00分現在、理事総数の過半数以上の理事6名が出席し、定款37条1項に基づき、本理事会は有効に成立したことが報告された。

又、理事会規則（（関係者の出席要請）第4条に基づき、上記のオブザーバーを理事会に出席させることを報告した。

その後、金澤理事長が議長に就き、開会を宣言し議事に入った。

### ○審議事項

審議に先立ち、2月の「ミャンマー視察・交流会の3日間の記録」の動画ビデオを上映した。続いて、ハピネス都筑に着任したミャンマーからの介護技能実習生4名が壇上に上がり、挨拶と決意を語り、出席した各受入法人から、着任した同実習生の近況の報告を受けた。その後、審議に入った。

#### 1. 第1号議案 2018年度事業報告及び決算(案)について

議長は、小沼専務理事より、理事会の議案書（事前配布資料）と同議案書（当日配布資料）に基づき、第1号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、全員異議なく賛成、可決し、6月の第4回定時社員総会に報告あるいは付議することを確認した。

#### 2. 第2号議案 2019年度事業計画及び収支予算(案)について

議長は、小沼専務理事より、理事会の議案書（事前配布資料）に基づき、第2号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、全員異議なく賛成、可決し、6月の第4回定時社員総会に付議することを確認した。

質疑の冒頭、首都圏、関西、九州の各ブロックから、懸案課題や方針論議の報告があり、その後、以下のような意見を頂いた。

- ・ミャンマー1国に絞って実習生を募集し、AAMがこのスケールメリットを背景に、安定した募集活動やラニングコストの抑制に繋がられないか。又、当事業団の会員が共同出資してミャンマーで高齢者施設を運営できれば、技能実習生の技能を活かせるのではないのでしょうか
- ・事業団が目指すことを達成するには、事業が持続し、経営の健全化が不可欠。特定技能にもウイングを広げ、介護現場の不足解消のニーズも取り込んで、会員を増やしていくことも必要ではないか。
- ・技能実習制度の縮小は避けられない趨勢だ。介護人材の確保は①特定技能②技能実習③留学の3つのルートが考えられるが、技能実習の場合、日本語要件が緩和され、技能実習2号への移行段階のN3合格は、努力目標とされた。現地のニーズや入国までの期間や経済的な負担を考えると、N4入国を前提に、日本語・介護の教育支援態勢の確立を本格的に準備すべきではないか。
- ・現地に求めることより、むしろ、受け入れる私たちが変わり、もっと、先を見て、自己努力する必要があるのではないか。
- ・以上について、更に深めて、来年度の方針(案)に反映できるようにすることを確認した

### 3. 第3号議案 役員（理事）報酬上限額決定の件

議長は、小沼専務理事より、理事会の議案書（事前配布資料）に基づき、第3号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、全員異議なく賛成、可決し、6月の第4回定時社員総会に付議することを確認した。

### 4. 第4号議案 第4回定時社員総会の開催日時及び場所並びに社員総会の目的である事項の決定の件

議長は、小沼専務理事より、理事会の議案書（事前配布資料）に基づき、第4号議案の提案要旨等を説明させ、質疑の後、議場に諮ったところ、全員異議なく賛成、可決した。

### 5. 第5号議案 ミャンマーの第2期実習生の受入れ法人、人数の応募の件

議長は、小沼専務理事より、理事会の議案書（事前配布資料）に基づき、第5号議案の提案要旨等を説明させ、加えて同議案書（当日配布資料）に基づき、第1期生、第2期生の人数を修正した上で、質疑を行い、その後、議場に諮ったところ、全員異議なく賛成、可決した。

○ 特別報告

1. 「特定技能の施行と介護職種の外国人介護人材の受入の行方」

理事長の金澤より、議案書（事前配布資料）に基づき、報告を行った後、質疑を行った。

○一般報告

- ・『実習生、いま何してる』のブログ構築は、目的と位置づけ等の明確化とフェイスブック、インスタグラムにもウイングを広げて検討することを確認し、再整理の上、次回理事会にて継続論議することとした。又、次期定時総会における各ブロックからの理事選出と①教育②広報③営業（拡大）の担当制の導入は、定款の定めによるほか、新たな規則の制定や理事会規則の一部変更も生じることから、次回までに再整理し、議論を継続することを確認した
- ・又、4月19日の中国北京医護家ケアリングの視察を受け入れて頂いた、社会福祉法人京都南山城会とこの受入れをコーディネートした江口理事から、評価と今後の課題について報告を受けた。

議長は、以上をもって、議事審議を終了し、16時50分に閉会を宣言して散会した。  
以上、相違ありません。

2019年4月20日

一般社団法人 国際介護人材育成事業団

代表理事 金澤 剛      理事 福本 京子      理事 小沼 正昭      理事 江口 幸

一

理事 小國 英夫      理事 佐藤 健二

監事 松本 典丈

以上